

1. 口演発表

1) 発表時間

発表：7分 質疑：3分

2) 発表日時

日 程	セッション名	時 間	会 場
2月24日(土)	口演発表1	10:15 ~ 10:55	第3会場(花A)
	口演発表2	11:00 ~ 11:40	第3会場(花A)
	口演発表3	13:00 ~ 14:30	第3会場(花A)
	口演発表4	10:15 ~ 10:55	第4会場(花D)
	口演発表5	11:00 ~ 11:40	第4会場(花D)
	口演発表6	13:00 ~ 14:30	第4会場(花D)
2月25日(日)	口演発表7	9:00 ~ 9:40	第4会場(花D)
	口演発表8	9:45 ~ 10:25	第4会場(花D)

3) 口演発表について

- ・ご発表されるセッション開始の15分前までに会場にお入りください。
- ・ご自身の発表開始の15分前になりましたら、会場前方の次演者席に着席ください。
- ・演台上には、モニター・マウス・キーボード・レーザーポインターを設置いたします。操作はご自身でおこなってください。
- ・演台上には、発表時間を示すタイマーが設置されております。発表開始後、6分が経過した際に黄色のランプが点灯します。7分間の発表時間を超えた場合、赤色のランプが点灯します。

2. 発表方法

- 1) Microsoft Power Pointを使用したPCでの発表を原則といたします。
- 2) Windowsをご利用の場合はMicrosoft Power Point 2021～2010で作成したデータをUSBフラッシュメモリまたはCD-Rにてご持参ください。
- 3) 文字フォントは、OSに設定されている標準フォントをご使用ください。
【日本語】MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
【英 語】Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Gothic・Courier・Courier New・Georgia・Times New Roman
- 4) スライドサイズは16:9、解像度はFull HD(1920×1080)を推奨いたします。
- 5) アニメーション・動画は使用可能です。ただし、以下を厳守してください。
Power Pointに貼り付けている動画ファイルも必ずご持参ください。
※動画を使用の場合、バックアップ用としてご自身のノートパソコンを必ずご持参ください。
- 6) 音声は使用できません。
- 7) 利益相反の状態について学会ホームページを参照いただき、発表スライドの2番目に開示してください。
- 8) Macintoshをご使用の場合は、ご自身でPCをお持ちください。(本体付属のコネクターもご持参ください。)

3. PC受付センター

場 所	4F ロビー
受 付 時 間	2月24日(土) 9:00～17:00
	2月25日(日) 8:00～15:00

- 1) ご自身の発表時間の1時間前までにPC受付センターに発表データまたは、ご自身のPCをご持参いただき、受付・試写をしてください。
- 2) 会場内のシステムと同一のものをご用意いたします。
(原則として、PC受付センターや講演会場内PCデスクでのデータ修正はお断りいたします。)
- 3) ご自身のデータ内容確認の他、遠隔操作の動作確認および映像の外部出力をおこないます。
(問題発生時にはスタッフにお声がけください。)

※PCをご持参される方

- 1) 電源(AC)アダプターを必ずご持参ください。
- 2) ディスプレイ外部出力は、基本的にHDMIを使用します。それ以外の形状のパソコンは、必ず専用アダプターをご持参ください。
- 3) 万一のトラブルに備え、バックアップデータをUSBフラッシュメモリまたはCD-Rに保存してご持参ください。
- 4) 発表中にスクリーンセーバーに切り替わったり、省電力機能で電源が切れたりしないよう設定をご確認ください。

4. 利益相反 (COI) の開示

公益社団法人日本口腔インプラント学会 第43回関東・甲信越支部学術大会での筆頭発表者には、利益相反の有無に関わらず、開示が義務付けられています。

口頭発表の際、最初から2番目のスライドに「様式2 発表時に使用する様式」を追加して開示してください。

COIの詳細、フォーマットについては、下記の公益社団法人日本口腔インプラント学会ホームページ「利益相反 (COI) 状態の申告について」のページをご確認ください。

<https://www.shika-implant.org/coi/>

5. 質疑応答

質問は座長の指示に従い、所定のマイクで所属・氏名を明らかにして、要領よく簡潔に発言してください。時間節約の為、発言される方は、予めマイク近くにお越しください。

10:15 ~ 10:55

口演発表1

矯正, チーム医療, インターディシプリナリー治療

座長: 山西泰史 (武蔵野インプラント研究会)

- 0-01 インプラントを矯正治療の固定源に利用した1症例
進藤久美子 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-02 下顎第二側切歯の先天性欠損を矯正治療およびインプラント治療で対応した1症例
丹野 努 (NPO法人 埼玉インプラント研究会)
- 0-03 インプラント治療における矯正治療併用に関する提案
西原宗信 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-04 重度歯周病患者に対し, インプラント治療, 歯周組織再生治療および MTM を用いた包括治療をおこない 10 年経過した1症例
田 昌守 (東京歯科形成研究会)

11:00 ~ 11:40

口演発表2

上部構造の設計, 製作, 技工, 先進的再生医療

座長: 小久保裕司 (鶴見大学歯学部附属病院インプラントセンター)

- 0-05 スクリュー・セメントに頼らないジルコニアダブルクラウンの検証
—食材の違いによる手製引張測定機等の比較検討—
西山晃司 (一般社団法人東京形成歯科研究会)
- 0-06 All-on-4 手術後経年劣化した補綴装置を交換した1症例
月村佳子 (関東・甲信越支部/ユニバーサルインプラント研究所)
- 0-07 All-on-4 concept の治療における上部補綴装置の変形・破折をした症例に対する工夫
山浦大宜 (ユニバーサルインプラント研究所)
- 0-08 Plasma gel はポリリン酸の徐放性担体となりうるか
中村雅之 (東京形成歯科研究会)

13:00 ~ 13:30

口演発表3-1

即時埋入, 即時荷重, 早期荷重

座長: 近藤英司 (信州大学医学部歯科口腔外科学教室)

- 0-09 ワンピースインプラントを用いた即時荷重症例の10年超経過症例の検討
佐藤淳一 (横浜口腔インプラント研究会)
- 0-10 All on 4 concept における下顎傾斜埋入の優位性とその実際
香坂直哉 (ユニバーサルインプラント研究所/関東・甲信越支部)
- 0-11 抜歯即時埋入および抜歯後早期埋入したインプラントに対して ISQ とペリオテストを使用して荷重時期決定の客観的方法
山口貞博 (東京形成歯科研究会)

13:30 ~ 14:00

口演発表3-2 即時埋入, 即時荷重, 早期荷重, サイナスリフト, ソケットリフト

座長: 貝淵信之 (東京女子医科大学)

- 0-12 重度広範性歯周炎に対して Pro Arch を用いて咬合再構成を行った1症例
安藤琢真 (ユニバーサルインプラント研究所/関東・甲信越支部)
- 0-13 上顎中切歯に抜歯即時インプラント埋入を行った1症例
中野 透 (武蔵野インプラント研究会)
- 0-14 イヌ前頭洞動物実験長期例における挙上洞粘膜下スペース内インプラント界面の組織学的観察
渡辺孝夫 (神奈川歯科大学)

14:00 ~ 14:30

口演発表3-3

サイナスリフト, ソケットリフト, 診査・診断

座長: 北條正秋 (みなとみらい (MM) インプラントアカデミー)

- 0-15 上顎遊離端欠損症例にソケットリフトを用いて, 咬合支持を回復した1症例のインプラント周囲骨の12年経過
河津千尋 (新潟再生歯学研究会)
- 0-16 無歯顎患者に対し両側上顎洞底挙上術を併用したインプラント治療術後23年経過症例
小川雅子 (みなとみらい (MM) インプラントアカデミー)
- 0-17 上顎洞を避けてショートインプラントで対応した一例
佐藤文明 (日本インプラント臨床研究会)

10:15 ~ 10:55

口演発表4

術式, 外科処置

座長: 笹谷和伸 (一般社団法人日本インプラント臨床研究会)

- 0-18 インプラント難症例における手術インフラストラクチャーの提案
清水直美 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-19 高齢者のインプラント治療における身体的時間的ストレスを軽減する工夫
丸林浩太郎 (ユニバーサルインプラント研究所)
- 0-20 下顎右側第一大臼歯欠損に対してフラップレスによるインプラント埋入と同時に結合組織移植を行なった9年経過症例
池田康男 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-21 上顎洞迷入したインプラント体を摘出後に再治療を施した1例
大津雄人 (東京歯科大学口腔インプラント学講座)

11:00 ~ 11:40

口演発表5

骨誘導, 骨造成, GBR, メンテナンス, SPT, インプラント周囲炎

座長: 佐野哲也 (総合インプラント研究センター)

- 0-22 インプラント治療における炭酸ガスレーザー照射による新生骨再生
—第1報 埋入手術前までの骨再生—
尾関雅彦 (鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)
- 0-23 22年長期経過を得たインプラント治療の1症例
北澤 敦 (新潟再生歯学研究会)
- 0-24 歯科衛生士の業務におけるデジタル機器を利用した患者コミュニケーションの工夫
早川麻友 (関東・甲信越支部)
- 0-25 下顎左側小白歯部におけるインプラント周囲炎に対して外科的治療を行った1症例
高野清史 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)

13:00 ~ 13:30

口演発表6-1

デジタル歯科

座長：瀬戸宗嗣 (日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第2講座)

- 0-26 高度な絞扼反射を有する患者に対しインプラント固定性補綴を行なった1症例
郡 啓介 (鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)
- 0-27 無歯顎インプラント治療における印象精度向上の工夫
：デジタルとアナログアプローチの併用
山本清作 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-28 DXを活用したインプラント埋入における注意点
津川順一 (日本インプラント臨床研究会/東京医科歯科大学口腔再生再建学分野)

13:30 ~ 14:00

口演発表6-2

デジタル歯科

座長：井下田繁子 (日本大学松戸歯学部付属病院口腔インプラント科)

- 0-29 デジタルインプラントデンティストリー：チームスタッフの役割と関わり方の提案
大森星香 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-30 デジタルテクノロジーによるインプラント治療における審査診断の工夫
佐々木亮音 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-31 デジタル機器を使用した予知性のあるインプラント治療の工夫
大寄登隆 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)

14:00 ~ 14:30

口演発表6-3

偶発性

座長：新村昌弘 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)

- 0-32 上顎洞底挙上術後に二度の偶発症をリカバリーしインプラント治療を行なった10年経過症例
直野公一 (嵌植義歯研究所)
- 0-33 下顎骨体内にインプラントが迷入した1症例
安田 佑 (ユニバーサルインプラント研究所)
- 0-34 上顎洞迷入インプラントに対して摘出した2例の検討
長尾将平 (信州大学医学部歯科口腔外科学教室)

9:00 ~ 9:40

口演発表7 オーバーデンチャー, アタッチメント, インプラント術前の歯科治療, インプラント材料, バイオマテリアル

座長: 濱川知也 (特定非営利活動法人埼玉インプラント研究会)

- 0-35 インプラントオーバーデンチャーにおけるロケーターアタッチメントの有効性の考察
後藤晶子 (みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-36 固定性上部構造から可撤性上部構造に変更した一症例
岩本麻也 (日本インプラント臨床研究会)
- 0-37 歯周病患者におけるインプラント治療の工夫
加藤典子 (みなとみらい (MM) インプラントアカデミー)
- 0-38 コラーゲン線維配向に影響するジルコニアへの細胞接着性タンパク質固定化の効果
高山洋彰 (鶴見大学歯学部口腔リハビリテーション補綴学講座)

9:45 ~ 10:25

口演発表8

臨床統計, 疫学, 社会歯科

座長: 園川拓哉 (明海大学歯学部病態診断診療分野 1)

- 0-39 当口腔インプラント研修施設によるインプラント認定講習会のアンケート調査
細井秀悟 (NPO法人 埼玉インプラント研究会)
- 0-40 インプラント治療を行った高齢患者における口腔関連 QOL の評価
高橋かれん (日本歯科大学附属病院 口腔インプラント診療科)
- 0-41 All-on-4 concept を用いた 120 症例の臨床的検討
北條恭輝 (ユニバーサルインプラント研究所)
- 0-42 インプラント治療における術前検査の有用性に対する臨床的検討
近澤俊郎 (日本歯科大学附属病院 口腔インプラント診療科)